

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成22年3月25日 (2010.3.25)

【公開番号】特開2009-266753(P2009-266753A)

【公開日】平成21年11月12日 (2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報2009-045

【出願番号】特願2008-117962(P2008-117962)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

B 0 5 C 5/00 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/10

B 0 5 C 5/00 1 0 1

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月8日 (2010.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

塗布対象基板にインクを吐出する吐出ヘッドと、
前記塗布対象基板の一方の側に配置される第 1 のロール部と、
前記塗布対象基板の他方の側に配置される第 2 のロール部と、
前記吐出ヘッドが入る開口部が形成されており、前記塗布対象基板と前記吐出ヘッドと
の間に、前記塗布対象基板に対向して、配置され、前記第 1 のロール部と前記第 2 のロー
ル部とによって巻き取られるロール状のシートと
 を備えることを特徴とする有機デバイスの製造装置。

【請求項 2】

前記ロール状のシートが、前記塗布対象基板に対向して配置される第 1 の部分と、前記
 第 1 の部分の次に前記塗布対象基板に対向して配置される第 2 の部分とを有し、
 前記第 1 の部分と前記第 2 の部分とに前記開口部が形成されている
 ことを特徴とする請求項 1 に記載の有機デバイスの製造装置。

【請求項 3】

塗布対象基板と吐出ヘッドとの間にロール状のシートが配置され、
 前記塗布対象基板に対向して配置された前記ロール状のシートの部分に形成された開口
 部を介して、前記吐出ヘッドから前記塗布対象基板にインクを吐出し、
 前記塗布対象基板の一方の側に配置される第 1 のロール部と、前記塗布対象基板の他方
 の側に配置される第 2 のロール部とによって、前記ロール状のシートを一方向に巻き取り
 、前記塗布対象基板に対向して、前記ロール状のシートの新たな部分が配置される
 ことを特徴とする有機デバイスの製造方法。

【請求項 4】

前記インクが沸点 150 度以上の溶媒を 10 % 以上含む

ことを特徴とする請求項 3 に記載の有機デバイスの製造方法。

【請求項 5】

前記インクが高分子発光材料である

ことを特徴とする請求項 3 または請求項 4 に記載の有機デバイスの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するために、本発明に係わる有機デバイスの製造装置は、下記に示す特徴を備える。

(C1) 有機デバイスの製造装置は、(a) 塗布対象基板にインクを吐出する吐出ヘッドと、(b) 前記塗布対象基板の一方の側に配置される第 1 のロール部と、(c) 前記塗布対象基板の他方の側に配置される第 2 のロール部と、(d) 前記吐出ヘッドが入る開口部が形成されており、前記塗布対象基板と前記吐出ヘッドとの間に、前記塗布対象基板に対向して、配置され、前記第 1 のロール部と前記第 2 のロール部とによって巻き取られるロール状のシートとを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】